

# 循環型社会と持続可能な農業の構築に向けて 食品廃棄物と未利用資源リサイクルの取り組み

田園資源 × エネルギー・環境

株式会社 不二産業

株式会社 新潟不二A.B.

## <取り組みの概要>

草葉堆肥や食品リサイクルを原料とした有機堆肥を使用して、耕作放棄地を優良農地へ復元。生産された野菜は、地元小学生の体験収穫や、市内のスーパーにて販売しているほか、ホテルや飲食業での食材や食品製造業での原材料として利用され、食品ループを形成している。

## <取り組みの効果>

- ◆ 株式会社新潟不二A.B.において、西区や西蒲区の利用権設定した耕作放棄地（平成30年12月現在、約16ha）を、草葉堆肥や食品リサイクルを原料とした有機堆肥を用いて優良農地へ復元。
- ◆ 草葉や食品などをリサイクルさせることで廃棄物の焼却処分量の減量に貢献。

## <株式会社 不二産業>

- ◆ 概要 : 一般廃棄物と産業廃棄物の収集運搬及び処分（再生）に伴い有機堆肥の製造などを行っています。
- ◆ ホームページ : <https://www.environment-technology.co.jp/>

## <株式会社 新潟不二A. B. >

- ◆ 概要 : 耕作放棄地を農地へ復元することに取り組み、そこでニンジン、大根、スイカ、メロンなどを生産しています。
- ◆ ホームページ : <https://www.environment-technology.co.jp/publics/index/26/>



## <取り組みに至った経緯>

- ◆ 近年は、農業者の高齢化と後継者不足に伴い、離農者が増加するとともに優良な農地が荒廃していくことを目の当たりにし、地元の企業としてこの流れを変える事ができないかという思いから実施に至る。

## <取り組む際に生じた課題と対応方法>

- ◆ 農地復元を実施するために、農業者として農業参入したうえで農地借用する必要があったため、それに時間を要した。
- ◆ 新規就農で、かつ、新規事業の実施であったことから、地権者や地元自治会へ説明、理解を求めるまでの一連の作業に労力を要した。

## <今後の展望>

- ◆ 自社グループだけでの展開に限界があり、地域の農業者との連携による農地運用のシステムの構築が必要となる。

## <活用した支援施策>

- ◆ 新潟市 耕作放棄地解消推進事業助成金
- ◆ 新潟市 がんばる農家支援事業※

※平成30年4月から「元気な農業応援事業」に組み換え